

## PP6型空空ポジショナー クイック・スタート・ガイド

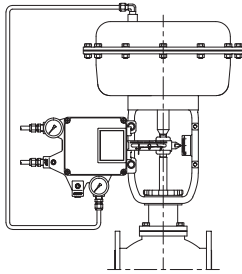


この資料は、ポジショナーの据え付けや結線および調整方法を簡単に説明した資料です。詳細な安全のための注意、試運転要領、メンテナンスなどの詳しい説明は、技術資料(IM-P704-02)を参照ください。

### 1. 据え付け

#### 1.1 リニア ポジショナー

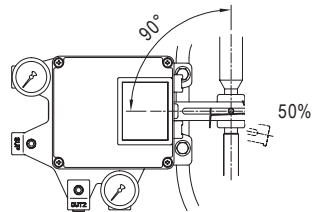
1.1.1 フィードバック・ピン・ロケーターとフィードバック・ピンをアクチュエーターカップリングにしっかりと組み立てます。



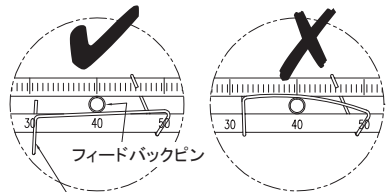
据え付け位置	ピンロケーター マーク	バルブ ストローク	取付け キット	フィードバック・ピン ロケーターの向き
中央	N/A	20mm	PY3	←
		30mm		
		50mm	PY4	
		70mm		
左サイド	D	20mm	UY3	←
	A	30mm		
	B	50mm	UY1	→
	E	70mm		

1.1.2 付属のフィードバックレバー、ブラケット、ポジショナーをしっかりと組み立て、アクチュエーターヨークの左側に緩く取り付けます。セントラルマウントの場合は、アクチュエーターヨークの右側にマウントします。

1.1.3 ポジショナーのフィードバックレバーがバルブストロークの50%でバルブシステムに対して垂直であることを確認してください。

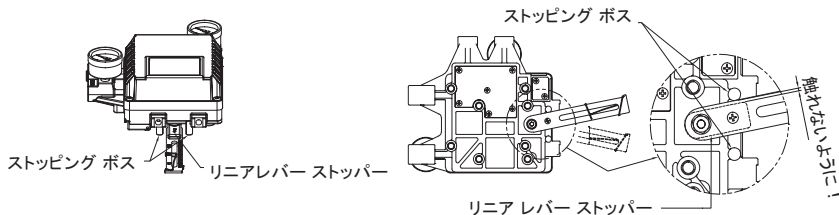


1.1.4 アクチュエーターカップリングからのフィードバックピンは、バルブストロークの長さがフィードバックレバーにマークされた「mm」の対応する数字と一致するように、フィードバックレバーのスロット内に挿入する必要があります。

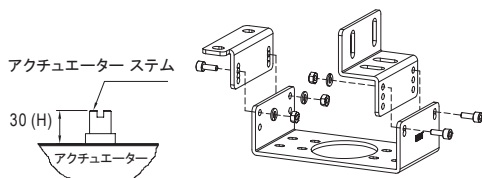
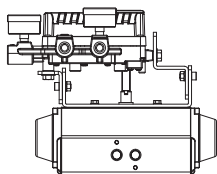


レバー スプリング

- 1.1.5 0% または 100% の位置では、リニアレバーまたはリニアレバー ストッパーがポジショナーのストッピング ボスに触れないようにする必要があります。
- 1.1.6 最後のステップとして、ブラケットをアクチュエーターヨークに締めます。



## 1.2 ロータリー タイプ



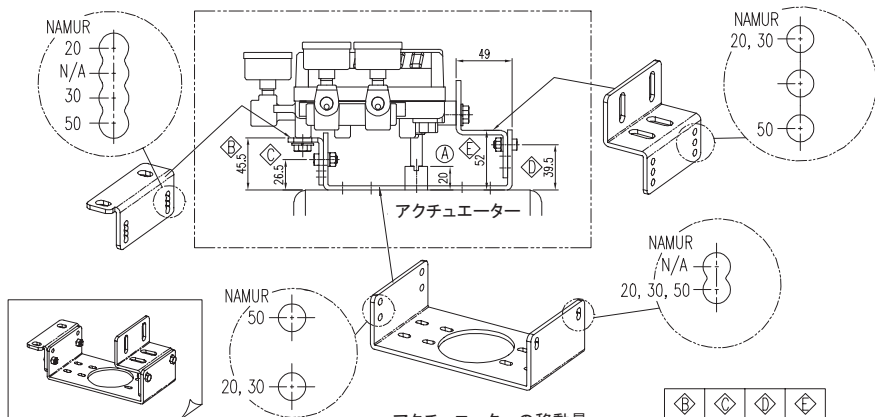
1.2.1 ポジショナーボックスには2つのブラケットがあります。

1.2.2 以下を参照し、アクチュエータのステムの高さに応じて、固定する上下のブラケットのボルト締め位置を確認してください。

次に、M6ボルト、ワッシャー、ナットを使用して、ポジショナーのブラケットを組み立てます

1.2.3 ポジショナーのメインシャフトの中心がアクチュエーターのステムの中心と適切に位置合わせされていることを確認してください。

1.2.4 上記の手順3で説明した位置合わせを考慮して、ポジショナーとブラケットを締めます。



アクチュエーターの移動量

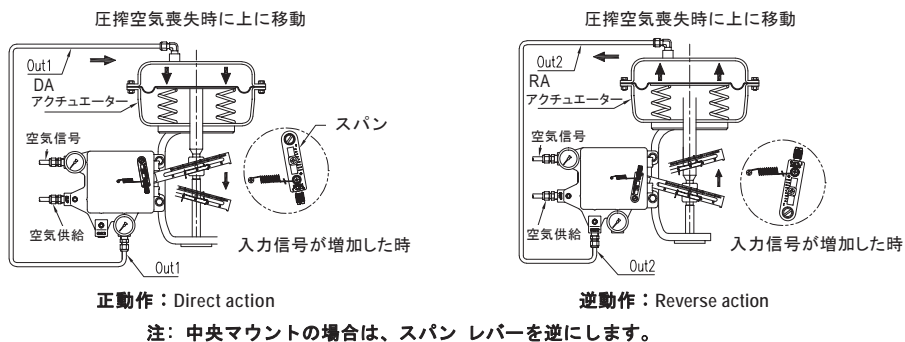
Ⓐ : 20, 30, 50

	◇	◇	◇	◇
20	45.5	26.5	39.5	52
30	55.5	26.5	39.5	52
50	75.5	41.5	39.5	72

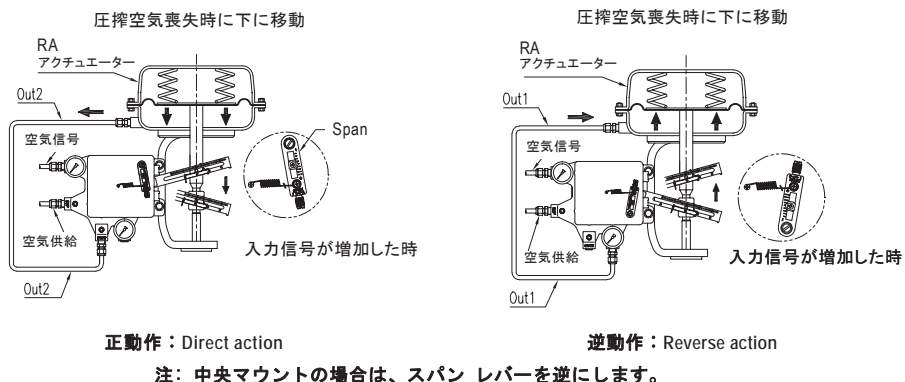
## 2. 圧搾空気の接続

### 2.1 シングル（単動作）サイド マウント

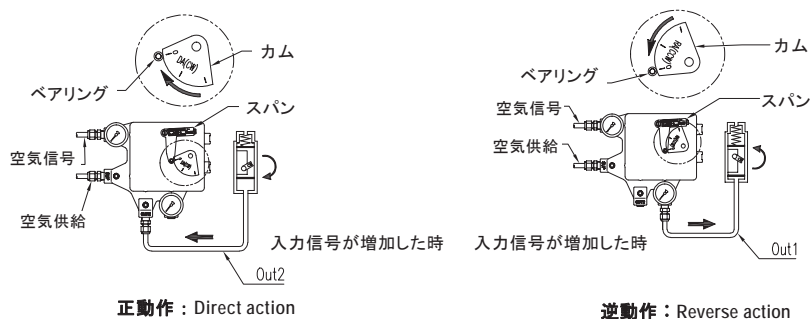
2.1.1 リニア、Direct Action（正動作）、シングル動作の場合の配管とスパンの関係



2.1.2 リニア、Reverse Action（逆動作）、シングル動作の場合の配管とスパン調整の関係

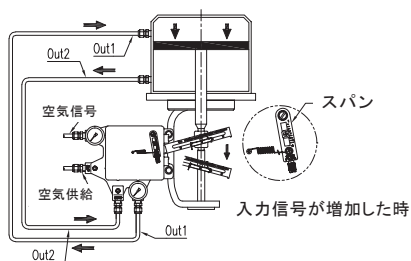


2.1.3 ロータリータイプ、シングル動作の場合の配管とカム調整の関係

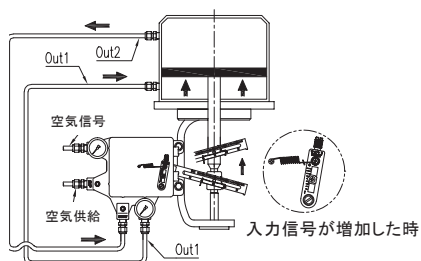


## 2.2 ダブルタイプ（複動作）サイドマウント

### 2.2.1 リニア、ダブル動作の場合の配管とスパンの関係



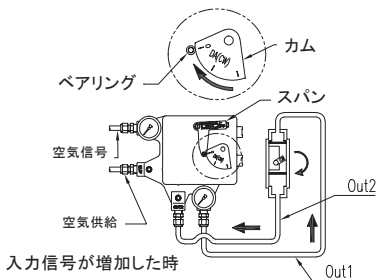
正動作：Direct action



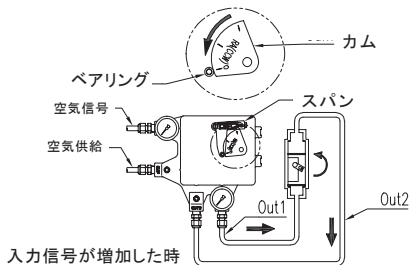
逆動作：Reverse action

注：中央マウントの場合は、スパン レバーを逆にします。

### 2.2.2 ロータリー、ダブル動作の場合の配管とカム方向の関係



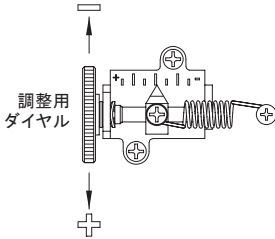
正動作：Direct action



逆動作：Reverse action

## 3. 調整方法

### 3.1 ゼロ点調整



入力信号空気圧を初期値として 0.02 MPa（正動作の場合 0.10 MPa）に設定して、調整用ダイヤルを回して調整します。

時計方向に回すと、バルブは閉じます。  
反時計方向に回すと、バルブは開きます。

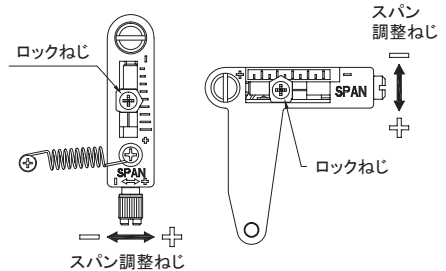
### 3.2 スパン調整

3.2.1 ゼロ点調整後、入力信号空気圧を終点圧力として 0.10 MPa（正動作の場合 0.02 MPa）アクチュエーターのストロークを確認してください。

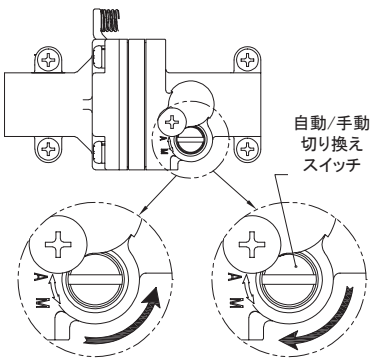
3.2.2 ロックねじを緩めて、スパン調整ねじを回して調整します。  
広げるには＋方向に、狭くする時は－方向にします。

3.2.3 スパン調整すると、ゼロ点調整に影響するので、ゼロ点とスパン点の両方が適切に設定されるまで数回繰り返してください。

3.2.4 調整終了後はロックねじで固定します。



### 3.3 Auto：自動 / Manual：手動の切り換え



Manual：手動

Auto：自動

3.3.1 自動/手動スイッチはパイロットユニットの上部にあります。このスイッチにより、ポジションナーをバイパスして素通りさせることができます。

スイッチを反時計回り（「M」方向、手動）に回すと、入力信号に関係なく供給圧力が直接アクチュエーターに供給されます。

一方、スイッチを時計回り（「A」方向、自動）に回すと、ポジションナーは入力信号によって正常に動作します。

3.3.2 スwitchを「M」に向けて緩める前に、供給空気圧力がアクチュエーターの定格空気圧を超えないようにしてください。

3.3.3 「手動」機能を使用した後は、必ず自動/手動スイッチを元の「自動」に戻すことを忘れないようにしてください。